

会員限定

2018年7月度
金融システム研究会
2018年7月10日(火)

改正銀行法施行 APIの本格活用に向けて

講師: 吉本 憲文

住信SBIネット銀行 株式会社 FinTech事業企画部長
神戸大学 非常勤講師

 金財情報システム「金融システム研究会」事務局

CONTENTS

目次

改正銀行法施行 API の本格活用に向けて

Slide 2 自己紹介	4
Slide 3 2007 年 9 月 24 日開業インターネットフルバンキングサービスを提供	6
Slide 4 API 開放への取組みのきっかけ	6
Slide 5 これまで 14 の API 接続事例を公表	8
API 接続事例	8
Slide 7 ①既存技術の課題解決	10
Slide 8 ②法人振込業務の円滑化	10
Slide 9 ③証券口座開設における本人確認業務関係	12
Slide 10 ④新たなユーザー体験の創出	12
Slide 11 ⑤キャッシュレス	14
Slide 12 各 API 接続におけるメリットの整理	14
Slide 13 API 開放の成功と失敗	16
改正銀行法と関連動向	16
Slide 15 改正銀行法施行	18
Slide 16 改正銀行法関連 鳥瞰図	18
Slide 17 時系列でお話します	20
Slide 18 連携及び協働に係る方針の公表	20
Slide 19 当社の接続基準	22
Slide 20 (参考) 月刊瀧	22
Slide 21 政令等(案)の公表と意見募集	24
Slide 22 政令等(案)の意見募集締切	24
Slide 23 施行後の契約締結は?	26
Slide 24 接続の基準の公表の準備	26
Slide 25 接続の基準の公表の準備	28
Slide 26 パブリックコメントの結果等の公表	28
Slide 27 パブリックコメントの結果等の公表	30

Slide 28 接続の基準の公表	30
Slide 29 接続の基準の公表	32
Slide 30 オープン API に関する有識者検討会	32
Slide 31 契約の概要の公表	34
Coffee Break	34
Slide 33 K バンクとカカオバンクの概要	36
Slide 34 K バンク	36
Slide 35 カカオバンク	38
資料外スライド	38
資料外スライド	38
Slide 37	40
Slide 38 その他 韓国の FinTech ベンチャー	40
Slide 39 その他 韓国の FinTech ベンチャー	42
Slide 40 その他 韓国のキャッシュレス事情	42
オープン API と今後	44
Slide 42 例えば、キャッシュレス	44
Slide 43 キャッシュレスチャレンジ	46
資料外スライド	46
Slide 45 UBER は降車時の支払いを無くした	48
Slide 46 amazon go はショップでの支払いを無くした	48
Slide 47 ウォルマートは冷蔵庫まで直接配送する	50
Slide 48 ケーススタディ “冷蔵庫が「たまご」を発注する時代”	50
Slide 49 ペイメントレスの兆候	52
Slide 50	52
◆ 質疑応答	54

皆さんこんにちは。住信 SBI ネット銀行の吉本と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

お手元の資料で、投影するものとほとんど一緒ですが、一部スライドが異なるところもあります。その箇所はご案内しますので、あらかじめご了承くださいければと思います。

Slide 2 自己紹介

まず簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は転職者でございまして、住信 SBI ネット銀行に入社して3年半です。

FinTech 事業企画部を2015年8月に立ち上げました。あの当時はまだ FinTech というキーワードがマイナーなときでした。

住信 SBI ネット銀行に入社するまでは、左下のロゴにあるような会社を順々に転職していきまして、いま4社目です。いずれの会社においても新規事業企画を中心に携わってまいりました。外部活動では、記載の各種委員活動に参加させていただいたり、週に1回、神戸大学で FinTech に関する非常勤講師を担当させていただいております。

改正銀行法施行 APIの本格活用に向けて



住信SBIネット銀行

自己紹介



略歴	
2015年2月	住信SBIネット銀行 入社
2015年8月	同 FinTech事業企画部長
外部委員活動	
日本銀行	ITを活用した金融の高度化の推進に向けたワークショップ ITを活用した金融の高度化に関するワークショップ
経済産業省	産業・金融・IT融合に関する研究会 (FinTech研究会)
全国銀行協会	オープンAPI のあり方に関する検討会 オープンAPI推進研究会 ブロックチェーン技術の活用可能性と課題に関する検討会
FISC	FinTechに関する有識者検討会 オープンAPIに関する有識者検討会 ブロックチェーンに関するWG
寄稿その他	
神戸大学非常勤講師 2016,2017,2018	
週刊金融財政事情2016年5月2日-9日号「住信SBIネット銀行のブロックチェーン実証実験の成果」	
週刊金融財政事情2017年6月5日号「先陣を切る住信SBIネット銀行が目指すイノベーション」	
日本経済新聞出版社「ブロックチェーンの未来」第6章	

Slide 3 2007 年 9 月 24 日開業インターネットフルバンキングサービスを提供

このページは会社の簡単なご紹介なのでほとんど飛ばしますが、開業 10 年で、500 人ぐらいの会社で、三井住友信託銀行と SBI ホールディングスのジョイントベンチャーだと覚えていただければと思います。

Slide 4 API 開放への取組みのきっかけ

当社の API 開放のきっかけについてです。

2015 年 8 月にマネーフォワードと業務提携を発表しています。その際、API 開放について公表しております。

写真は、日経新聞の 2016 年元旦の FinTech 特集でも取り上げていただいた、象徴的なイベントとなりました。ここから私たちの API の取組みが始まっております。

2007年9月24日開業 インターネットフルバンキングサービスを提供

口座数	321万口座	※2018年3月31日時点
預金残高	4兆5,000億円 突破	※2017年10月31日時点

会社名	住信SBIネット銀行株式会社	
代表者	代表取締役会長 藤田 万之葉 代表取締役社長 円山 法昭	
従業員数	500名	
株主構成	SBIホールディングス株式会社	50%
	三井住友信託銀行株式会社	50%

©SBI Sumishin Net Bank, Ltd.

3

API開放への取組みのきっかけ

- 2015年8月25日（株）マネーフォワードと業務提携を発表
- 同日、API開放について公表



左より
SBIホールディングス 株式会社代表取締役社長執行役員:北尾 吉孝 氏
株式会社マネーフォワード 代表取締役社長CEO:辻 庸介 氏
住信SBIネット銀行株式会社 代表取締役社長:円山 法昭

©SBI Sumishin Net Bank, Ltd.

4

Slide 5 これまで 14 の API 接続事例を公表

当社の API は今公表ベースで 14 事例あります。資料上部は、国際的な API に関する検討動向を表しています。イギリスのオープンバンキング・スタンダードが 2015 年 9 月から始まって、16 年 2 月にレポートが公表されました。

ほぼ同時期に、PSD2 (決済サービス指令 2) が欧州議会で可決されます。これが 2015 年 10 月のことです。欧州議会で可決されたあとは、各国で立法化していくという作業を経て、2018 年 1 月に各国で整備されています。

一方、日本も、2015 年 12 月の金融審議会でオープン API の検討と言及されています。「銀行界で検討」ということで、全国銀行協会にて研究会が立ち上がり検討開始します。その翌年 2016 年 12 月の金融審議会では法整備という言及があり、今年 6 月 1 日から銀行法が改正されております。

こういった流れの中で、当社は下図の 14 事例を公表しております。

API 接続事例

当社の API 接続事例をお話していこうかと思います。

14 事例もあるので、観点を絞りまして、5 つの切り口からお話をさせていただきます。